

「月刊！スپ協ナビ」 11月28日 (木)

～10/25 から 10/27 に開催された日本女子ソフトボール JD リーグ  
豊橋ラウンドについて～

出演者 豊橋ソフトボール協会 理事長 工藤澄子

豊橋市スポーツ協会 金田英樹

FM とよはし いいだまき



(いいだ)

はーい始まりました。月刊！スپ協ナビ。毎月第 4 週目のこの時間にお届け  
しております。10月10日が体育の日だった時代を経て、毎年10月の第二

月曜日に変わり、そして名前も体育の日からスポーツの日に。それに伴って、2020年豊橋市体育協会も豊橋市スポーツ協会となりました。今豊橋市でどんなスポーツの大会が開催されているのか、どんなスポーツが熱いのか、そんな話題を通してスポーツの魅力をお伝えするコーナーです。今日もスポーツ協会から金田さんにお越しいただいております。金田さんよろしくお願ひします。

(金田)

はい、よろしくお願ひします。

(いいだ)

なかなか寒くならないなと思ってたら、ようやくですね。

(金田)

本当に真夏で暑い暑いっていって、秋がまちどおしいなと思ってて、ようやくなったら今度は、朝晩と昼の温度差が大きくて、いっぺんに冬が来たのかと。また、今日はこの風でしょ。いっぺんに冬が来るんじゃないかと思って心配ちゃいます。皆さんその体調の維持とか大変だろうなと思いますけど、ようやく岩田運動公園のイチョウ並木が小金色に染まってきました。雰囲気が秋から冬らしいっていう感じの公園になってきましたね。

(いいだ)

どのくらい進んでいるんですか？

(金田)

まだまだ、これからという感じですが、イチョウ並木は結構な色付きですね。冬らしい感じの公園になってきました。イチョウ並木は進んでますが、他の木々はまだこれからかなって感じです。

(いいだ)

イチョウが色づいてくると雰囲気が出ますね。秋という感じですね。

(金田)

雰囲気はいいです。そういうのを見るのもいいので、ぜひ公園に散歩に来てください。

(いいだ)

そして今日はもう一人素敵なゲストをお迎えしております。豊橋ソフトボール協会理事長の工藤澄子さんです。よろしくお願ひいたします。

(工藤)

よろしくお願ひいたします。

(いいだ)

先ほども金田さんとも話をしてたんですが、豊橋のソフトボール界で一番偉い人だと。

(金田)

ソフトボールの事は何を聞いても答えてくれるので、ソフトボールの楽しさとか魅力をしっかり伝えていただけると思いますので、よろしくお願ひします。

(いいだ)

工藤さん、もちろんソフトボールをずっとやられてたんですか？

(工藤)

子どものときにやってたんですが、ソフトボールのルールを知らないので、ある校長先生から審判をとったらということで、とてから41年になります。

(いいだ)

そうなんですね。いろんな大会で審判長という肩書でお見受けしますが、ほんとソフトボール界の重鎮ですね。

(金田)

日本のトップリーグの審判も務められたと聞いてます。

(工藤)

日本ソフトボール協会の審判の副委員長もやってました。ソフトボールをやっている皆さんよりもちょっとだけ知っているという感じですね。今監督されている方たちの審判をやってたという時代です。

(いいだ)

ソフトボールの楽しさとか魅力をしっかり伝えていただけると思いますので、よろしくお願ひいたします。10月の25日から27日までJDリーグ豊橋ラウンドが開催されますね。

(工藤)

豊橋ラウンドの中では競技ディレクターっていうことで、皆さんのまとめ役で走り回っておりました。

(いいだ)

お疲れ様でした。JDリーグはスタートしてまだ日が浅いですか？

(工藤)

そうですね。昔は全日本女子ソフトボールというリーグ戦だったんですけど。ニトリさんがスポンサーになっていただいてから3年目になります。名称もジャパンダイヤモンドリーグと変わりました。

(いいだ)

はい。何かちょっと素敵な名前ですね。ダイヤモンドって付いてるのがホームベースの形とか、いろいろもじってるんですね。

(工藤)

会場に来てもらえるとわかりますが、外野のフェンスのところにピンクのシートがずっと張ってあるところにスポンサーの名前が出ています。女性ならではの大会ですということですね。

(いいだ)

ダイヤモンドっていうのが、女性っぽくすごくキラキラしてて、感じられるかなと思いますけど。今 JDリーグと JSリーグってのがあるんですか？

(工藤)

昔の2部リーグというのがJSですね。JDっていうのは1部チームが東と西に分かれて試合をやってます。

(いいだ)

昔は、1部 2部 3部って言ってたものが、今はJD、JSとなってるんですね。そのJDリーグの豊橋開催は今年で何回目になったんです？

(工藤)

発足から3年目で会場は発足からずっと開催させていただいております。今年は10月になりましたけど、ピンクリボン月間ということで、会場をピンクにするということで、選手はピンクの帽子とかピンクのリボンを付け、ベースも白をピンクに塗りまして。審判もピンクの帽子のポロシャツを着て、ちょっと面白かったです。

(いいだ)

何て言うんでしょう、女の子というか、カラフルでいいですね。

(工藤)

毎年ピンクリボン月間になりますので、豊橋で 10月にやるときはすべてピンクになると思います。

(いいだ)

ソフトボールに基本的にイメージカラーみたいなのがあるんですか？

(工藤)

特にはないですね。最初は男性の審判もピンクの帽子にピンクのボロシャツを着てやるもんですから、恥ずかしい感じがしましたけど。それは、それで経つてしまえば、素晴らしくかっこよかったです。

(いいだ)

そうですよね。会場はどんな感じだったんですか。

(工藤) 会場から見るたちは、なんだこれはというふうな感じでしたけど。アナウンサーの方たちが、ピンクリボン月間で、皆さん検診を受けてくださいねという。お話をされてましたので、その辺は根付きましたね。

(いいだ)

そう、キャンペーンにもなっていく、啓発活動としてはいいですよね。試合の方はいかがでしたか？

(工藤)

試合の方は3日間5試合が行われましたが、ホームチームとなる東海理科はこの大会には 25 日の 1 試合目、ナイターで試合をさせていただいた結果、トヨタに残念ながら、10 対 0 で負けてしまいました。26 日にはトヨタ自動織

機と試合をしまして、ここは 2 対 0 で勝ちまして、27日の日本精工ですね。そこには 4 対 3 でサヨナラ勝ちでしたので、観客の皆さんはすごく喜んでいただいて、拍手喝采でしたよ。

(いいだ)

ピンクリボン月間と連動させてっていうお話もありましたけど、その他にもいろいろなイベントが開催されてたんですよね。

(工藤)

色々と考えまして今年は先ほど申し上げました、宇津木妙子さんにお話をして、元日本代表監督による連射砲ノック、すごいスピードでノックをするんですけど、させていただきました。ものすごかったです。最初は 70 人くらいの予定だったんですけど、それが終わってから東海理科の野球部の選手と豊川高校のソフトの選手をピックアップして、特別にまたノックをしていただきまして、とても受けれないと言ってましたけどね。

(いいだ)

男性ですよね。

(工藤)

両方とも男性ですが、そこをお願いして、特別にノックしていただいたんです。

(いいだ)

どんな感想でしたか？

(工藤)

取れないって言ってました。早すぎて。

(金田)

まあまあのお歳だと思いますが、あのスピードであれだけノックできるのは普段どうしてるのでかと思いますね。節制してるのかな。

(工藤)

走ってるそうです。腕立て伏せもしてるそうです。ノックした後に、お茶を持って行きましたけど、なんか全然ハーハー言ってなかったです。

(金田)

ボール渡す人も大変だなといつも思ってるけど、あのスピードについていかないといけないから。

(工藤)

だから、普通の人ではできないといわれて、東海理科の選手にお願いしてボール渡ししてもらいました。ボール出すのが遅いとか言ってましたけどね。

(いいだ)

ご覧になられた方はいいものが見れたなってことですね。

(金田)

それを企画してくれたったってことですからね。

(工藤)

昔、私が審判してる時から知ってましたので、ぜひ豊橋に来ていただけませんかって言いましたら、気持ちよく来てくれました。チャンスがあってお願いする時があれば、講話とかできないかなと、子どもたちに聞かせてもらえればと思ってます。

(いいだ)

お元気な秘訣も伺いたいし、どういう気持ちでソフトボールをされてきたかっ

ていうのがね。それこそ、未来のソフトボール選手たちにはすごい響くんじゃないかなって。

(工藤)

そうなんですよね。子供たちにやっぱり宇津木妙子さんの名前を知らない子たちがたくさんいるので、今の日本の監督は宇津木麗華さんですけど、妙子さんをあまりよく知ってないのは、ちょっと残念。やっぱりシドニーの話とか、ソフトの放送する時の話とかを聞きたいですよね。スポーツ協会の応援ももらいながら、出来ればと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(いいだ)

3日間でかなりの方が来場されたと思うんですが。

(工藤)

豊橋会場はお客様が多く入っていただけるので、3日間で 3542 名とう観客動員がありまして、ラウントの平均が 2253 人ですから、まあ 4 会場をやっているリーグの中では、豊橋会場が一番たくさんのお客さんが入るということで、J D リーグからもお褒めの言葉を頂いております。

(金田)

ソフトボール協会のやっぱり頑張りですよね。

(工藤)

手筒花火もありましたし、チアドラもありましたので。

(いいだ)

ソフトボール協会さんが運営に携わって 3 年目ということで、年々手応えを感じるところが大きくなっているらっしゃるのではないかと思うんですが。

(工藤)

そうですね。準備段階から去年よりもプラスになって、お客さんに喜んでいただけるような何か行事をしないといけないかなと思って、役員一同なんとかしようと思って色々と考えております。

(いいだ)

来年以降もそうですね。期待しております。話は変わりまして、デンソーブライトペガサスというチームがありますけれども、このブライトペガサスの選手の皆さんによる技術指導講習会っていうのが、今度開催されるんですよね。

(工藤)

そうですね。来週の土曜日 12月 7日の 9時から豊橋市民球場で講習会を予定しております。今まであのコロナ等ありましたので、久しぶりの開催です。中高生の皆さんが楽しみにして来ただけると思っております。

(いいだ)

やっと、コロナが落ち着いてきて今年なんとなく、ソフトボール界に活気が戻ってきたなっていう気がするんですけども。

(工藤)

オリンピック無観客だったので、特にそういう点では、豊橋にデンソーさんが来るのも、ほんと久しぶりです。 J D リーグもデンソーさんのホームチームではないので来ることができなかったんですけど、久しぶりに、私たちもデンソーのチームとお会いできることになりましたので、楽しみにしております。

(いいだ)

デンソーブライトペガサスはどんなチームなんですか？

(工藤)

1960年に創立して全日本の総合選手権とか日本女子ソフトボールリーグ優勝もしているチームなんですね。豊橋、田原に工場がありましたので、デンソーさんの安城のグラウンドを修理するときに豊橋の方に来ていただいて、しばらくの間は、こちらの方で試合をしておりました。

(いいだ)

豊橋にも、ゆかりがあるということですね。

(工藤)

隣の町と言ってはいけませんけど、すぐ近くですね。

(いいだ)

デンソー女子ソフトボールチームからは何人の方が参加されるんですか？

(工藤)

今回は9名の選手の方が参加されます。監督、コーチ含めて全部で12名になります。

(いいだ)

あー、そうなんですね。受講する側の人は決まってるんですか？

(工藤)

中高校生の女子ソフトボール部が参加していただくように企画をしております。

(いいだ)

学校指定っていう感じではなくて、いろいろな学校から募るみたいですね。

(工藤)

そうですね。豊橋だけではなく、せっかくのチャンスですので、東三河の学校にも声をかけていただいて、全体で 70 から 100 名を予定しております  
(いいだ)

ソフトボールに関わらず、現役の選手から指導を受ける機会はないですよね。  
(工藤)

普段は先生たちに教えていただいているんですけど、やっぱり現役でやっている選手から直接キャッチボールとかバッティングとかそういうことはないもんですから、参加された方は、今までの経験からすると喜んでおりましたね。

(いいだ)

言い方がおかしいんですけど、最新の技術が学べるみたいな。中高校生の皆さんには目をキラキラさせてるんでしょうね。

(工藤)

そうですね。一番面白いのはホームと 2 墓から 2 組に分かれて競争するんですね。バトンリレーをして抜いたり抜かれたりして、ベースの踏み方も教えてくれるので。

(いいだ)

効率よく回れる方法ですね。

(工藤)

生徒の中に選手も一緒になって走りますから。

(いいだ)

それこそ、目の当たりにして技を盗めるみたいな感じですね。申し込みは間に合うんですか？

(工藤)

申し込み自体は終了していますが、どうしても参加されたい方は申し込みいただいても構いませんので。

(いいだ)

まだ間に合うと言うことなので。ソフトボール協会さんはいろいろな活動をしてもらって、すごい貢献してもらってますね。

(金田)

JDリーグは日本のトップですから、試合でその技術を目の当たりにする機会を提供してもらっているのは、この地域の子供たちにとって本当にいいと思います。素晴らしいと思いますね。日本のトップって言ったら、これ世界のトップですよね。世界のトップレベルの試合を間近に見られる、技を間近に見られるっていうのは、そう簡単なことではないと思いますね。特に愛知県はチームが多くて、JDのチームがトヨタ筆頭にいくつかあります。子供たちが本当にやりたくて目指したいっていうところが明確になってますよね。そういう意味では、良い環境の中でやれてるなっていうのを正直思いますよ。

(工藤)

7月にワールドカップで金メダル取ってきましから、是非豊橋からも、優秀な選手を先生方にお願いをして、そういうところに参加できる一流の選手を見出したいと思いますね。

(いいだ)

それで、どんどん機会を増やして上げてっていうのね。みんなでやってみたいですよね。楽しみですね。理事長としてこれから思いはありますか？

(工藤)

ソフトボール金メダル取ってるんですけど、まだまだマイナーなところがあって、チーム数も減少してる。そしてジュニアとか中学とか高校とかはやっぱりチーム数が減ってきてて、合併チームになってるのがとても悲しいですね。部活もなくなっているので、ソフトボール協会としてもどのように携わっていくかが課題です。

(いいだ)

そうなってくると学校内で出来るところがなくなって、やはりクラブチームをつくっていかないといけなくなるとか、ソフトボール協会さんの対応も必要になってくるのかと思いますね。

(金田)

子供たちがスポーツができる環境、受け皿を作っていくかといけないので。これからソフトボールだけでなく、いろんな加盟団体も同じような問題を抱えていると思いますので、より良い解決策を見つけてもらいたいと思います。皆さんの知恵を絞ってやっていってほしいなあと思います。

(いいだ)

そうですね。さあ、最後になりますけど、この放送をお聞きになっている皆さんに工藤さんから一言ありましたら。

(工藤)

ソフトボールって、外でやる試合ですので、暑い時も寒い時もありますけど、やってみたら絶対楽しいです。ぜひチャレンジして、ソフトボールの面白さを味わっていただきたいですね。

(いいだ)

ありがとうございます。さあ、金田さん、ソフトボール以外にもいろいろイベントがあると思うんですが。

(金田)

ソフトボールに関してはデンソーの講習会があるんですが、野球に関しても、同様にトヨタ自動車硬式野球部。これもう社会人のトップチームですけど、12月 8 日日曜日、先ほどのデンソーソフトボール講習会の翌日になりますが、トヨタ自動車硬式野球部の野球教室を開催します。毎年恒例で来ていただいているんですが、小学 6 年生が対象で、34 チーム 230 名ほどの子供たちに市民球場に来てもらって講習会を開催する予定です。こちらもトップの技術を目の当たりにして、いろんなことを学んで、楽しく野球を今後とも続けてもらえるような指導をして、さらに頑張って子供たちを育てていきたいということで開催します。それからもうひとつだけすみません。愛知万博のメモリアルの市町村対抗駅伝競走大会というのが、12月 7 日土曜日に県内 54 市町村が参加をして、小学生から中・高校生、そして一般ということで 9 区に分かれて駅伝競走をするということで、東海テレビで放映される予定です。愛知県の冬の風物詩となっているそんな大会です。豊橋は結構強い選手が多いので、ずっといい成績を残してるんですが、昨年 5 位一昨年 4 位、その前は優勝ということで、それ以来の優勝を狙っており、6 回目の優勝に向けて、選手たち頑張って、臨んでくれると思います。会場でもいいですし、テレビの前でも結構ですので、是非応援をしていただけするとありがたいかなと思います。はい以上です。

(いいだ)

ありがとうございます。そのほかにも来月のイベントがありますので、スポーツ協会のHPを見ていただいて申し込みをしていただけたらと思います。工藤さん、ソフトボールの良いお話をたくさん聞けたのでまた来てください。月刊！スポ協ナビに豊橋市スポーツ協会から金田さん、豊橋ソフトボール協会から工藤澄子さんにお越しいただきました。ありがとうございました。

（工藤、金田）

ありがとうございました。